

のびろ作業所

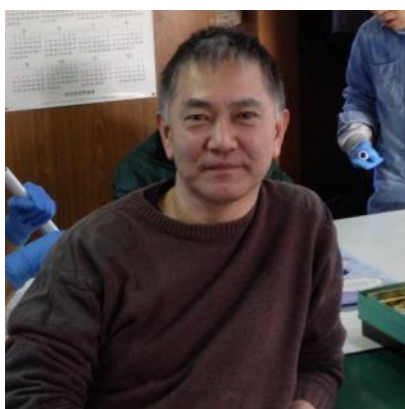
(社会福祉法人のびろ会)



1 施設の概要

定員	就労継続支援B型 28人		平均年齢	平均：50歳 最年少：18歳 最年長：80歳
所在地	さいたま市南区 太田窪 5-1-1 https://goo.gl/MXVh4R		送迎範囲	有：旧浦和市内（要相談）
アクセス	南浦和駅東口より徒歩 20分		食事提供	あり （1食あたり 350円の負担あり）
連絡先	TEL：048-885-6185 FAX：048-885-6163		入浴	なし
開設日	昭和 54 年 4 月		車いす	利用者あり
開所日時	月～金（土曜開所日あり）9時～17時		医療的ケア	なし
			その他 設備	エレベーター なし ユニバーサルシート （大人用ベッド） なし

2 施設の運営方針・理念



施設長の成井です。

のびろ作業所は、「本来施設の主人公は利用者である」事を基本に広く社会における開かれた施設として、地域社会と密接なかかわりをもちながら、障がい者の福祉に寄与しようとする施設です。

身体障がい・知的障がい・精神障がいによって、一般の企業に就労することが困難な障がい者に、作業の場を提供し、必須な支援・訓練を行い社会的自立への援助を行うことを目的としています。

3 事業内容の紹介

作業支援



利用者の障がい・能力に応じた適切な作業に取り組み、働くことの楽しさ・意義・習慣・責任等を理解し、身に付けることを目標に支援を行います。

生活支援



日常生活を通じて、各個人の生活の場を大切にし、生活への自信と意欲を促進し、社会生活に必要な習慣・知識等を身に付け、社会への適応能力を養います。

就労支援



利用者の希望・能力に応じた支援を行ないます。一般企業等への就職を希望し、かつ就労可能と思われる人については、その適性に応じた企業の開拓、および就職支援を行い、就労を促進します。

4 事業の紹介写真

作業支援



作業の種類・内容はクリアファイルなどの封入作業、タオル折り、雑誌付録の作製、各種販売促進品の作製、化粧品サンプル、線接続金具の解体再生作業他、様々です。利用者さんの希望、適性、スキルに合わせて作業を行なっています。



こちらは電線接続金具の解体再生作業。少数精鋭で皆黙々と行っています。材料自体の重量があり、少々汚れ仕事であるのですが、男性利用者、職員が中心となって作業を行なっています。

生活支援



昼食の時間も一日の中で特に楽しいひとときです。準備も皆で協力して行ないます。昼食の内容はヘルシー御弁当と普通の御弁当に分かれており、自由に選ぶことができます。



「秋の旅行」

秋に旅行へ出掛けます。日頃の作業の疲れをリフレッシュ。陶芸・釣りなど様々な体験をして盛り上がります。みんなで、そろって記念写真、「はいチーズ♪」



「the 運動会」

浦和障がい者施設連絡会主催の運動会、他の施設の交流も楽しみ、綱引き、玉入れ等でストレスを発散。のびろの日頃の団結力を見せてやるぞ！



「クリスマス会」

クリスマス会、プレゼント交換やゲーム大会を行ない、神聖な雰囲気？の中、年末のひとときを楽しんでいます♪

5 施設の年間の行事



3月下旬～4月初旬：お花見
さいたま市内の公園を散策し、桜見物を楽しみながら食事をします。



6月：エンタテメント
(埼玉県立障害者交流センター)
浦和の福祉施設合同で音楽、ダンスやクイズを楽しみます。



9月：ふれあいスポーツ大会
(岩槻文化公園)
さいたま市内福祉施設合同の運動会。(さいたま市主催)



10月：the 運動会
(埼玉県障害者交流センター)
浦和の福祉施設合同での大運動会(浦和障がい者施設連絡会主催)



10月下旬：秋の旅行
秋の心地良い季節の中、観光バスに揺られ、旅行に出掛けます。



12月下旬：クリスマス会
(のびろ作業所内)
皆で会食しながら、職員が考案したゲームやプレゼント交換を行ないます

6 施設の自慢・特色



複数の業者の仕事を請け負っているため、それぞれの希望、適性、スキルに応じた多種多様な作業を行なっています。
就労の希望があれば関係各所との連携を含め、できる限りの支援を行なっています。



リサイクル品の回収も行なっています。年に一回程のバザーを開催しており、地域に根差した施設を目指しています。



身体・知的・精神と複数の障がいのある方が交わっているため、様々な利用者間の交流ができ、職員・利用者ともアットホームな雰囲気で作業を行なっています。